

Vol.43

院長 関の

Face to Face

2012年 1月 1日発行



「むち打ち症の症状」は大別するとおよそ以下の4つに分類されます。

頸部の捻挫を主とする症状：・足首や手首の捻挫と同じで、頸部の筋肉や靭帯、関節包の損傷です。

頸がだるい、頭が重い、頭痛、頸部の痛み、運動制限がある、肩がこる・・・など他の捻挫と同じような症状です。

神経根の障害を主とする症状：・神経根とは脊髄神

「むち打ち症」4つの症状



経から枝分かれし、腕や足に分布する神経の根本部分のことです。そこを圧迫されたり、引っ張られたりすることでその神経が支配している領域に循環障害が起きます。しびれ感、知覚異常、電気が走るような痛み・・・など症状が複雑です。

自律神経の障害を主とする症状：・脳に血液を送る動脈(椎骨脳底動)の血流が悪くなり自律神経が正常に働かなくなります。

頭痛、頭重、眼精疲労、耳鳴り、めまい、難聴、集中力の低下：・更に内臓不調など不定愁訴の症状がみられます。

骨髄液圧の低下を主とする症状：・骨髄液は脳の水分を調整したり、衝撃から守ったりする働きをします。外傷により髄液を包む硬膜が破れ、髄液が漏れ、圧が低下することで、頭痛、はきけ、めまい、視力障害、集中力の低下などに似た症状が出ます。これは専門医の診断がなければなかなか分かりにくい疾患であり外科的処置が必要な場合もあります。

関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・鍼灸院・
整体院 院長

代替医療の総合治療院としての
確立を目指す

タイトルの「Face to Face」患者
さん自身と向き合って患者さん
の症状と闘うことを願ってつけ
た

* 毎月1日の発行です